１　概　況

平成３０年平均佐賀市消費者物価指数は、平成２７年を100とした総合指数で101.8となり、前年に比べ(+)1.1%の上昇となった。

なお、総合指数は、平成１９年は下落、平成２０年は上昇したものの、平成２１年から平成２４年は下落、平成２５年から再び上昇となった。

(1)　この１年間における総合指数の動きを月別に前年同月比でみると、１月は野菜・海藻、自動車等関係費などの値上がりにより(+)1.4%の上昇、２月は野菜・海藻、自動車等関係費などの値上がりにより(+)1.6%の上昇、３月は自動車等関係費、野菜・海藻などの値上がりにより(+)1.4%の上昇、４月は自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+)0.9%の上昇、５月は自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+)0.9%の上昇、６月は自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+)0.9%の上昇、７月は自動車等関係費、野菜・海藻などの値上がりにより(+)1.1%の上昇、８月は自動車等関係費、野菜・海藻などの値上がりにより(+)1.6%の上昇、９月は自動車等関係費、野菜・海藻などの値上がりにより(+)1.4%の上昇、１０月は野菜・海藻、自動車等関係費などの値上がりにより(+)1.3%の上昇、１１月は自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+)0.9%の上昇、１２月は電気代、自動車等関係費などの値上がりにより(+)0.4%の上昇となった。

（２）　10大費目指数の動きを前年比でみると、「食料」は野菜・海藻、菓子類などの値上がりにより(+)2.1%、「住居」は家賃の値下がりにより(-)0.1%、「光熱・水道」は電気代、他の光熱などの値上がりにより(+)3.0%、「家具・家事用品」は家庭用耐久財、寝具類の値下がりにより(-)1.2%、「被服及び履物」はシャツ・セーター類、他の被服などの値下がりにより(-)0.5%、「保健医療」は保健医療サービス、保健医療用品・器具の値上がりにより(+)2.0%、「交通・通信」は自動車等関係費、交通の値上がりにより(+)1.8%、「教育」は補習教育、教科書・学習参考教材の値上がりにより(+)0.8%、「教養娯楽」は教養娯楽用品、教養娯楽用耐久財の値下がりにより(-)0.2%、「諸雑費」はたばこ、身の回り用品などの値上がりにより(+)0.5%となった。

（３）　**近年の総合指数の動き(前年比)**

平成２３年・・・　自動車等関係費（ガソリン）、たばこなどの値上がりはあったものの、教養娯楽用耐久財、家賃などの値下がりにより(-)0.7%の下落。

平成２４年・・・　調理食品、電気代、自動車等関係費などの値上がりはあったものの、家賃、教養娯楽用耐久財などの値下がりにより(-)0.1%の下落。

平成２５年・・・　家賃、肉類などの値下がりはあったものの、自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+)0.2%の上昇。

平成２６年・・・　果物などの値下がりはあったものの、魚介類、電気代などの値上がりにより(+)2.5%の上昇。

平成２７年・・・　他の光熱、自動車等関係費などの値下がりはあったものの、履物類、果物などの値上がりにより(+)0.9%の上昇。

平成２８年・・・　自動車等関係費、電気代などの値下がりはあったものの、設備修繕･維持、野菜･海藻などの値上がりにより(+)0.2%の上昇。

平成２９年・・・　通信、野菜・海藻などの値下がりはあったものの、自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+)0.4%の上昇。

平成３０年・・・　通信、家賃などの値下がりはあったものの、自動車等関係費、野菜・海藻などの値上がりにより(+)1.1%の上昇。